

令和3年度 立川市立立川第八中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 命を大切にできる心をもつ人</li> <li>○ 「知恵」を身につけ活かせる人</li> </ul>
---------	---

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自尊感情を高めるとともに自他の生命尊重、思いやりの行動を実践できる生徒</li> <li>○ 自ら主体的に学ぶ意欲と確かな学力をもった生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識や技能の習得・定着をさせる学習活動を通じた基礎学力の向上と、主体的・対話的で深い学びを通じた思考力や判断力、表現力等の育成</li> <li>・ 「立川八中スタンダード」に基づく「学習のねらい」「授業の見通し」「振り返り」を明確にした一単位時間における学びの質を高める習得・活用・探究を目指した授業づくり</li> <li>・ 「授業の見通し」「授業の振り返り」に家庭学習を活用した授業づくり</li> <li>・ 「GIGA スクール構想」に基づく一人1台タブレットPCを活用した生徒一人一人のニーズに合った指導</li> </ul>

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習した漢字や、文法の知識を、日々の生活の中に活用していく能力。</li> <li>○ 文章の読解において、内容を読み取り、適切な言葉で文章の構成や要旨を表現することができる能力。</li> <li>○ 文法や言葉の特徴や表現技法を踏まえ、自らの考えを分かりやすい文章構成で表現する能力。</li> <li>○ お互いに認め合い、学び合うことで、自他を尊重し、周りとともに成長していく資質。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テストやスピーチ発表などを定期的に行うことで自主的な学習を促し、基礎的・基本的な知識の定着を図る。</li> <li>・ 単元を通して何を学習していくかを明確に示し、見通しをもちながら学習に取り組む。</li> <li>・ 読み取った内容から要旨をまとめる活動や、根拠を明確にした意見文を書く活動などの機会を多く設定し、思考力や表現力の向上を促す。</li> <li>・ 他者との思考や表現、判断の比較を通して、生徒自身の能力の改善や向上を行う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会的事象等の理解の定着を図るとともに、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能。</li> <li>○ 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を充実させることで、公民としての資質・能力の基礎を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題を把握し、見通しをもつことができるよう身近な社会的事象を取り上げ、動機付けにつなげる。</li> <li>・ 知識・技能の定着のために系統性に留意しながら学年間などで反復することやICT機器を活用した資料等の提示を行い、視覚的に捉える活動を取り入れるなど学習を工夫する。</li> <li>・ 調べ学習や話し合い・討議等の対話的な学びから社会的事象を考察し、問題解決等を構想する学習を行う。</li> <li>・ 「主体的な学び」と「多様な考えによる学び合い」から社会に見られる課題の解決に向けた構想を個々に言語化できるよう指導の充実を図り、深い学びへとつなげる。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能。</li> <li>○ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力。</li> <li>○ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学的な技能を学ぶ際、その手続きの基礎に概念や原理法則がある事、それらを上手く使って数学的な処理が考え出される事を理解させる。</li> <li>・ 直観的、帰納的、類推的に「推論する力」を養うとともに、得られた結果を条件や仮定に即して考察させる。</li> <li>・ 問題解決の過程を振り返らせ、表現を自立的・協同的に修正・改善させる。その上で、議論の前提を明確にし、問題の特徴や本質を捉えるようにする。</li> <li>・ 自立的・協同的な活動を通して数学を学ぶことを体験する機会を設け、その過程で様々な工夫、驚き、感動を味わい、数学を学ぶことの面白さ、考えることの楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能。</li> <li>○ 観察、実験などを行い、科学的に探究する能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りの小テストなどを行い、復習する機会をつくる。</li> <li>・ 観察、実験などの際には、できるだけ少人数のグループで行わせ、各自で体験した結果から考察、探究できるようにする。</li> <li>・ 互いの意見を交わしながら学ぶ機会を多くする。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽に対する感性を働かせ、どのように音楽で表すかについて表現意図をもつ。</li> <li>○音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだし、音楽の特徴について、他者と共有・共感し、音楽に対する価値意識を広げる。</li> <li>○音楽を通して、豊かで潤いのある人間関係を築く。</li> <li>○音や音楽を生活や社会に生かそうとする態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技においての基礎・基本を毎回の授業の発声練習などで身に付ける。</li> <li>・ワークシートの効果的な活用を図る。</li> <li>・グループワークで他者の意見を聞き、共有・共感できる活動を行う。</li> <li>・合唱活動では、リーダーを育成し、よい表現を皆で認め、歌いやすい環境作りをする。</li> <li>・授業を通して、お互いを認め合い、尊重し合える場を作る。</li> <li>・自分や社会にとっての音楽の意味や価値は何かなどを考え、深めていく。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象や事象を捉える造形的な視点について理解すると共に、表現方法を創意工夫し創造的に表現できる。</li> <li>○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えることができる。</li> <li>○主題を生み出し、豊かに発想や構想を練ることができる。</li> <li>○美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。</li> <li>○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示する参考資料や板書を工夫し、苦手意識をもっている生徒にもできるだけわかりやすい説明や指示と、具体的な声掛けを今後心掛ける。</li> <li>・作家たちの作品鑑賞や、生徒の作例など具体的、視覚的な働きかけや、言葉による働きかけによって生徒の意識に刺激を与え能力を引き出す工夫を今後も継続していく。</li> <li>・表現することの楽しさを実感させ意欲を引き出すため、授業中の細やかな声掛けなどを継続していく。</li> <li>・美術史上の作品鑑賞の機会を増やし、時代背景など多角的な視点から作品や作家を紹介することで美術への興味関心を高めるとともに、自らも表現者であることの意識をもてるよう働きかける。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康や安全に配慮しながら活動をすることができる生徒。</li> <li>○自ら主体的に学ぶ意欲と確かな学力をもった生徒。</li> <li>○自分の意思を正しく表現をすることができる生徒。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能の習得・定着をさせる学習活動を、学習カードを利用し、思考力や判断力、表現力、主体性についての意識を高める。</li> <li>・タブレットPCを用いた授業を行い、自ら発見し、考える機会を多く取り入れる。</li> </ul>
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族や家庭・衣食住・消費や環境、社会における事象についても考え、互いに協力してより快適に安全に生活できる能力を身につけ、持続可能な社会を構築していく心や態度を育成する。</li> <li>○生活に関する見方・考え方を働かせ知識を理解する。</li> <li>○生活や社会の中から問題を見いだし解決策を考える能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習、作業を多く取り入れた授業展開にする。</li> <li>・ワークシートを活用した授業をする。</li> <li>・グループワークを取り入れ、代表者の発表会を行い、友達の考えや作品からも学ぶ。</li> <li>・学習した内容が家庭で生かせるような課題を出し、知識、技能の定着を図る。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションによって活用できる技能。</li> <li>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする能力。</li> <li>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用できる語彙を増やすために、フラッシュカードを使った導入から、ペアでの発音練習、繰り返しの単語テスト、復習テスト等に取り組みせる。</li> <li>・習得した語彙がどのような場面で、どのような文脈で使用されるのかを例示しながら、実際のコミュニケーションによって活用できる技能を身に付ける。</li> <li>・英文の読み取りでは、主語と動詞の関係を明確にししながら、日本語との語順の違いを意識できるよう指導する。</li> <li>・既習事項を繰り返し復習することで、さらなる定着を図る。</li> </ul>